



KEI

CHITSU

特集

沢谷史郎氏収蔵

標本目録と郡上の蝶……………西田眞也……………1

岐阜県昆虫分布研究会機関誌

沢谷史郎氏収蔵標本目録と郡上の蝶

西田眞也

A list of Mr. S. Sawatani's collections
and the butterflies in Gujo area, Gifu Pref.

Sinya NISIDA

はじめに

沢谷史郎氏を知っている人は、現在では余り多くないかもしれない、しかし、比較的新しいものを取りだしても、大日岳のゴマシジミ（高橋，1973），蛭ヶ野のギフチョウ（古田，1956），さらには郡上郡のキマダラルリツバメの「再発見」（沢谷，1967）など、岐阜県の蝶の研究には欠かすことのできない業績を残しておられる方である。

また、1955年にはすでに100種以上の蝶を白鳥町周辺で発見されており、当時の日本の中では郡上郡は蝶相の最もよく判明した地域の1つであったが、これらはすべて沢谷氏がただ一人で行なわれたものである。

この概略は別に本文で述べることとするが、1953年から1967年までの間に採集された同氏の収蔵標本を、1985年10月10日野平照雄氏を通しておあずかりすることとなり、これら

162点の記録をすべて挙げることによって、沢谷氏の御好意にお応えしたいと思う。

郡上郡蝶類発見小史

○ 郡上郡の蝶を最初に報告したのは、1903年、増田健蔵氏〔白水隆：日本産蝶類分布表（1958年）は「塩田」とあるが、これは誤植である〕で（増田，1903），これは県内では1889年岐阜市（名和，1889）18種，1892年伊吹山（名和，1892）37種，1901年養老付近（伊東，1901）51種，に次ぐものである（表1）。

○ 増田氏は同1903年，さらにギフチョウ，クジャクチョウ，コツバメ，チャマダラセセリの4種を追加して，この時点で郡上郡の蝶は54種となった。なお，増田氏は「郡上郡」上保村に住まわれていたが，これは「武儀郡上之保村」ではなく，現在の白鳥町白鳥を指している。従って，上之保村のギフチョウの初記録は1976

年4月2日3卵(筆者採集,未発表)と思われる。

○ 同じく1903年,小森省作氏は岐阜県各地から送付された三角紙包標本をすべて展翅し,採集年月日,地名,頭数,採集者名を原簿に登載し,これを基にして,岐阜県の1市18郡別の分布表を含む,5回に渡る報文を発表され(小森,1903a~1903e),この時点で岐阜県の蝶としては75種が記録されて,岐阜県の蝶相解明の基盤となった。なお,この調査には,全県で216の学校が協力している。

○ その後の約半世紀の間の報文は短報が主で,種類数の増加の速度は極めてゆるかったが,一気に岐阜県の種類数を増加させたのが沢谷史郎氏である。

この報文によって,ムモンアカシジミ,オナガシジミ,ウスイロオナガシジミ,ジョウザンミドリシジミ,フジミドリシジミ,ミヤマカラスシジミ,ギンボシヒョウモン,キバネセセリが加わって,岐阜県産としては約115種,郡上郡としては106種(沢谷氏が挙げられたのは104種であるが,前記増田氏によるジャコウアゲハ,キマダラモドキが加わる)が記録されることとなった。

戦後の岐阜県での新発見の種類数は沢谷氏が一番であると同時に,氏の報告後約35年が経過した今日でも,郡上郡から新たに追加されたのはゴマシジミ(沢谷氏発見),ヒサマツミドリシジミ,ダイセンシジミ,オオヒカゲ,2種にわかれた「キマダマヒカゲ」の5種にすぎず,当時の調査がいかに精密であったかがわかる。

a) 沢谷氏は成虫の採集のみに留まらず,ウラキンシジミ,ムモンアカシジミ,オナガシジミ,ウスイロオナガシジミ,アイノミドリシジミ,メスアカミドリシジミ,エゾミドリシジミ,ジョウザンミドリシジミ,フジミドリシジミ,ミスジチョウ,ホシミスジ,ツマジロウラジャノメ,ヒメキマダラヒカゲの13種の成虫以外のステージは東海地方では同氏によって郡上で初めて発見されたものである。当時はゼフィルス各種の食樹が次々と判明していた時代でもあっ

たが(下山,1982),沢谷氏の郡上での発見は,日本での最初の記録から2~3年後で,当時の情報の伝達速度や,これらをすべて一人で行なったことなどを考えると,まさに驚嘆に値するものである。

b) 美濃地方におけるダイセンシジミの最初の発見は加茂郡東白川村大明神,30.VII.1973,1卵。(菅原由直氏採集,未発表),郡上郡としては,明方村三原,13.III.1977,3卵。(筆者採集,未発表)と思われる。

○ ついで1956年,高橋昭,葛谷健氏は中部東海地方産蝶類目録第3報(高橋・葛谷,1956)を著されたが,これは当時の蝶相の決定版であり,特に文献の収録は完璧で,愛知・岐阜・三重の蝶相を論ずるときには欠かせざる論文であるが,この中にも沢谷氏の報文が多く引用されている。

○ その後の岐阜県での新しい発見は主に飛騨地方に移り,1958年白水隆氏の名著「日本産蝶類分布表」には126種が岐阜県の蝶として収録され(白水,1958),さらに1986年現在では遇産も含めると148種が記録されることとなった。

<注1> 20世紀初頭の報文の多くは,宮島幹之助「日本蝶類図鑑」(宮島,1904)が使用している和名を多く用いている。この図鑑にはすでに日本産として155種がカラー手書き図版で示されている(チャヤマダラセセリ,タテハモドキを各々2種, *Melanitis* 2種を1種とし,ナガサキイチモンジも含まれているので,正確には153種が収録されている)。

<注2> 当時は *Luehdorfia*, *Gonepteryx* については研究がまだ不十分で,宮島の図鑑に示された「ヤマキチョウ *G. rhamni*」,「ダンダラチョウ *L. japonica*」は明らかにスジボソヤマキチョウ,ヒメギフチョウである。

従って増田氏の報文中にある「ヤマキチョウ」はスジボソヤマキチョウと解すべきであり,また小森氏は第2報で報告したヤマキチョウをスジボソヤマキチョウとする訂正記事を出されている

(小森, 1903C).

<注3> 宮島の蝶類図鑑にはオオウラギンヒョウモンも記載されており, 種としての斑紋の特徴も正確に描かれている. しかし当時の蝶の同定能力を考えると, 種 *F. adippe nerippe* を正確に判別できたかどうかには疑問が残り, 増田氏のリストにあるオオウラギンヒョウモンは疑問種ということにしておきたい.

正確なデータを付したオオウラギンヒョウモンの岐阜県での文献記録は岐阜県益田郡萩原町西上田, 18.VI.1960, 1♂, 田中正弘採集(田中, 1970)が最初のものである.

<注4> 今後郡上郡から新たに記録される種があるとすれば, カラスシジミ, ヘリグロチャバネセセリ, キリシマミドリシジミなどであろうと思われる.

<注5> 沢谷氏のリスト中, キマダラルリツバメのみはこの地点では文献上からの記録である.

沢谷史郎氏収蔵標本目録

沢谷氏の標本は1953~56年, 1965~67年の2期に別れており, ラベルは殆んどがローマ字で表わされていたが, ここでは地名を漢字に改めた.

また1950年代同氏が居住されていた六ノ里は郡上郡牛道村であったが, 現在は合併して白鳥町となっている.

1. *Luehdorfia japonica* ギフチョウ
大和町小間見, 7.IV.1967, 5♂♂1♀. 六ノ里, 18.V.1967, 1♀.
2. *Parnassius glacialis* ウスバシロチョウ
六ノ里, 18.V.1966, 2♂♂. 19.V.1966, 6♂♂. 28.V.1966, 1♀. 31.V.1966, 1♀.
大和町徳永, 18.V.1966, 1♂2♀♀. ラベルなし1♀.
3. *Papilio machaon hippocrates* キアゲハ
大日岳, 7.VII.1966, 1♂.
4. *Colias erate poliographus* モンキチョウ
板橋, 19.VII.1967, 1♂.
5. *Eurema hecabe mandarina* キチョウ
大野郡庄川村野々俣, 23.VII.1967, 1♂.

6. *Gonepteryx aspasia nipponica* スジボソヤマキチョウ
六ノ里, 1.IV.1961, 1♀, 徳永, 26.III.1963, 2♀♀. 庄川村野々俣, 23.VII.1967, 1♂.
7. *Pieris melete* スジグロシロチョウ
板橋, 19.VII.1967, 2♂♂.
8. *Japonica saepestrana* ウラナミアカシジミ
大島, 30.VI.1966, 1♂. 大野, 5.VII.1966, 1♂.
9. *Antigius attilia* ミズイロオナガシジミ
大島, 30.VI.1966, 1♀.
10. *Neozephyrus taxila* ミドリシジミ
板橋, 19.VII.1967, 1♂.
11. *Celastrina argiolus ladonides* ルリシジミ
庄川村一色, 6.VIII.1967, 1♂.
12. *Plebejus argus micrargus* ヒメシジミ
板橋, 6.VIII.1967, 1♀. 庄川村野々俣, 23.VII.1967, 4♂♂2♀♀.
13. *Parantica sita nipponica* アサギマダラ
大野郡白川村白山平瀬道, 15.VIII.1965, 1♂.
14. *Argyronome laodica japonica* ウラギンスジヒョウモン
郡上郡, 20.VII.1953, 1♂. 六ノ里, 1.VIII.1965, 1♂. 庄川村野々俣, 23.VII.1967, 1♂.
15. *A. ruslana lysippe* オオウラギンスジヒョウモン
牛道, 11.VII.1955, 1♂. 六ノ里, 1.VIII.1966, 1♂.
16. *Damora sagana liane* メスグロヒョウモン
六ノ里, 6.VII.1965, 1♂, 19.VIII.1965, 1♂.
17. *Argynnis paphia* ミドリヒョウモン
郡上, 24.VII.1953, 1♀. 六ノ里, 9.VII.1963, 1♂*, 7.VII.1965, 2♂♂*, 3.VIII.1965, 1♂. 庄川村野々俣, 23.VII.1967, 1♂.
18. *Fabriciana adippe pallescens* ウラギン

- ヒョウモン
郡上郡, 14. VII. 1953, 1♂. 六ノ里, 6. VII. 1965, 1♂*. 板橋, 19. VII. 1967, 1♂. 白川村白山平瀬道, 2,200m, 16. VIII. 1965, 2♀♀. 庄川村野々俣, 23. VI. 1967, 1♀.
19. *Mellicta ambigua nippona* コヒョウモンモドキ
庄川村野々俣, 23. VII. 1967, 1♂2♀♀**.
20. *Ladoga glorifica* アサマイチモンジ
郡上郡, 5. VII. 1953, 1♂. 六ノ里, 12. VIII. 1965, 1♂. 庄川村野々俣, 23. VII. 1967, 1♂.
21. *L. camilla japonica* イチモンジチョウ
郡上郡, 8. VIII. 1953, 1♂. 六ノ里, 12. VIII. 1965, 1♂. 板橋, 19. VII. 1967, 1♂. 庄川村野々俣, 23. VII. 1967, 1♀.
22. *Neptis phillyra excellens* ミスジチョウ
牛道村, 17. VI. 1954, 1♂. 六ノ里, 21. VI. 1966, 1♂*. 庄川村野々俣, 23. VII. 1967, 1♀.
23. *N. pryori* ホシミスジ
郡上郡, 5. VII. 1953, 1♂.
24. *Polygonia c-album hamigera* シータテハ
六ノ里, 9. V. 1961, 1♂.
25. *Nymphalis xanthomelas japonica* ヒオドシチョウ
六ノ里, 28. III. 1963, 1♂.
26. *N. antiopa asopos* キベリタテハ
六ノ里, 31. III. 1955, 1♂. 鷲ヶ岳, 21. VII. 1965, 1♀.
27. *Kaniska canace no-japonicum* ルリタテハ
鷲ヶ岳, 1. VII. 1958, 1♂. 六ノ里, 13. VIII. 1963. 1♂, 12. VIII. 1965, 1♂.
28. *Inachis io geisha* クジャクチョウ
六ノ里, 31. III. 1963, 1♂. 白川村白山平瀬道, 2,200m, 16. VIII. 1965, 1♂.
29. *Sasakia charonda* オオムラサキ
牛道, 23. VII. 1954, 1♂. 六ノ里, 10. VII. 1960, 1♂, 1. VIII. 1965, 1♀, 4. VIII. 1965, 1♀. 越佐, 7. VII. 1966, 1♂. ラベルなし1♂.
30. *Ypthima argus* ヒメウラナミジャノメ
郡上郡, 2. VIII. 1953, 1♂. 庄川村野々俣, 23. VII. 1967, 1♀. 同村一色, 6. VIII. 1967, 1♂.
31. *Lasiommata deidamia sachalinensis*
ツマジロウラジャノメ
牛道, 14. VII. 1955, 1♂. 大日岳, 7. VIII. 1966, 1♂. 大日岳 1,650m 草地, 7. VIII. 1966, 1♀.
32. *Harima callipteris* ヒメキマダラヒカゲ
郡上郡, 13. VI. 1953, 1♂. 鷲ヶ岳, 21. VII. 1963, 1♂. 六ノ里, 12. VIII. 1965, 1♂. 白川村白山平瀬道, 16. VIII. 1965, 1♀.
33. *Lethe diana* クロヒカゲ
郡上郡, 9. VI. 1953, 1♂. 六ノ里, 15. IX. 1965, 1♀. 白川村白山平瀬道, 15. VIII. 1965, 1♀.
34. *L. sicelis* ヒカゲチョウ
郡上郡, 20. VI. 1953, 1♂.
35. *Neope nipponica* ヤマキマダラヒカゲ
六ノ里, 12. VIII. 1965, 1♂.
36. *Kirinia epaminondas* キマダラモドキ
高鷲村蛭ヶ野, 15. VIII. 1967, 1♀.
37. *Ninguta shrenckii menalcas* オオヒカゲ
郡上郡, 20. VI. 1953, 1♂. 蛭ヶ野, 17. VIII. 1964, 1♀, 4. IX. 1966, 1♂1♀, 23. VII. 1967, 1♂. 板橋, 19. VII. 1967, 2♂♂1♀.
38. *Minois dryas bipunctatus* ジャノメチ

<注>* ラベルに「室内」の表示がある。沢谷氏宅内に迷いこんできたものを採集されたと思われるが、当時の白鳥町の豊かな自然がしのばれる。

** 筆者も知らなかった産地で、コヒョウモンモドキの日本最西端の生息地の1つであるが、現在は絶滅してしまっている可能性が高い。

- ヨウ
六ノ里, 4.VIII.1965, 1♀.
39. *Mycalesis gotama fulginia* ヒメジャノメ
郡上郡, 15.VIII.1953, 1♀, 大和町名皿部, 29.VIII.1965, 1♀.
40. *M. francisca perdiccas* コジャノメ
郡上郡, 4.VIII.1953, 1♂, 六ノ里, 17.VIII.1965, 1♂.
41. *Pyrgus maculatus* チャマダラセセリ
六ノ里, 22.VII.1954, 1♀, 18.IV.1961, 1♂, 大和町名皿部, 29.VIII.1965, 1♂, 庄川村一色, 6.VIII.1967, 1♂.
42. *Erynnis montanus* ミヤマセセリ
大島, 23.IV.1966, 1♂.
43. *Daimio tethys* ダイミョウセセリ
牛道, 11.V.1954, 1♂.
44. *Bibasis aquilina chysaeglia* キバネセセリ
六ノ里, 30.VI.1961, 1♂, 18.VII.1963, 1♂, 18.VII.1963, 1♂.
45. *Choaspes benjaminii japonica* アオバセセリ
鷲ヶ岳, 2.VIII.1958, 1♂, 六ノ里, 31.V.1966, 1♂, ラベルなし1♂.
46. *Thymelicus leoninus* スジグロチャバネセセリ
アツラ谷, 3.VIII.1954, 1♀, 六ノ里, 15.VIII.1960, 1♀, 庄川村一色, 6.VIII.1967, 1♂.
47. *Ochlodes venata herculea* コキマダラセセリ
高鷲村桑ヶ谷, 30.VI.1955, , 六ノ里, 3.VII.1960, 1♀, 22.VI.1963, 1♂*, アツラ谷, 28.VI.1961, 1♂, 2.VII.1961, 1♀, 板橋, 19.VII.1967, 2♂♂1♀, 高鷲村松峠, 7.VIII.1966, 1♀, 庄川村野々俣, 23.VII.1967, 1♀, 同村一色, 6.VIII.1967, 2♂♂.
48. *O. ochracea rikuchina* ヒメキマダラセセリ
六ノ里, 12.VI.1954, 1♂, アツラ谷, 7.VII.1954, 1♀, 内ヶ谷, 15.VII.1967, 1♂,

大和町万場, 3.IX.1966, 1♂.

49. *Potanthus flavum* キマダラセセリ
鷲ヶ岳, 18.VII.1958, 1♂, アツラ谷, 2.VII.1961, 1♂.
50. *Isoleinon lamprospilus* ホソバセセリ
アツラ谷, 3.VIII.1954, 1♀, 六ノ里, 1.VIII.1965, 1♂.
51. *Polytremis pellucida* オオチャバネセセリ
アツラ谷, 7.VII.1954, 1♂, 大日岳1650m草原, 7.VIII.1966, 1♀, 大和町名皿部, 29.VIII.1965, 1♀, 庄川村野々俣, 23.VII.1967, 1♂.
52. *Parnara guttata* イチモンジセセリ
庄川村野々俣, 23.VII.1967, 1♂.

おわりに

筆者が沢谷さん(当時はまだ古田さんとお呼びしていたが)の名前を知ったのは1960年であった。その頃の飛騨地方は蝶に関しては知識がまだはなはだ貧弱で、沢谷さんの郡上での成果には畏敬の念をいただいていたものである。

時がすぎ、再び沢谷さんの記録に接したのは長野県でベニモンカラスシジミが発見され、岐阜県でのこの蝶の調査に先立って、ミヤマカラスシジミの文献記録を拾っていた1978年で、さらにキマダラルリツバメ、ゴマシジミなど多くの機会に沢谷さんの名前が現われてきた。まだ一度もお会いしたことはないが、蝶に関しては常に自分の目標としてきた方の標本を現実目の前にして、正直言って戦慄を覚えた、と同時に、白鳥町という山間の地にあつて、これだけの業績を残された人のことはどうしても書きとめておきたいと思つたこのような報文とした。

筆者の意図が十分に表現されたとは言いがたいが、意をお汲みとりいただければさいわいである。

おわりに当り、文献のことでお世話いただいた高橋昭・有田豊の両氏ならびに、野平照雄氏に厚くお礼申し上げたい。

表1. 郡上郡蝶類目録 (1986年現在)

	1903 小 増 森 田	1955 沢 谷		1903 小 増 森 田	1955 沢 谷
1. ギフチョウ	○	○	30. ウスイロオナガシジミ		○
2. ウスバシロチョウ	○	○	31. ミドリシジミ		○
3. ジャコウアゲハ	○		32. アイノミドリシジミ		○
4. アオスジアゲハ		○	33. メスアカミドリシジミ		○
5. キアゲハ	○ ○	○	34. ヒサマツミドリシジミ		
6. アゲハチョウ	○ ○	○	35. エゾミドリシジミ		○
7. モンキアゲハ		○	36. オオミドリシジミ		○
8. クロアゲハ	○ ○	○	37. ジョウザンミドリシジミ		○
9. オナガアゲハ		○	38. フジミドリシジミ		○
10. カラスアゲハ		○	39. ミヤマカラスシジミ		○
11. ミヤマカラスアゲハ	○	○	40. トラフシジミ	○	○
12. モンキチョウ	○ ○	○	41. キマダラルリツバメ		○
13. ツマグロキチョウ	○	○	42. コツバメ	○	○
14. キチョウ	○ ○	○	43. ベニシジミ	○ ○	○
15. スジボソヤマキチョウ	○	○	44. ゴイシシジミ		○
16. エゾスジグロシロチョウ		○	45. クロシジミ	○	○
17. スジグロシロチョウ	○ ○	○	46. ウラナミシジミ	○	○
18. モンシロチョウ	○ ○	○	47. ヤマトシジミ	○ ○	○
19. ツマキチョウ		○	48. ゴマシジミ		
20. ムラサキシジミ		○	49. ルリシジミ		○
21. ウラゴマダラシジミ		○	50. スギタニルリシジミ		○
22. ウラキンシジミ		○	51. ツバメシジミ	○ ○	○
23. ムモンアカシジミ		○	52. ヒメシジミ		○
24. ウラクロシジミ		○	53. ウラギンシジミ	○	○
25. アカシジミ	○	○	54. テングチョウ	○	○
26. ウラナミアカシジミ		○	55. アサギマダラ		○
27. オナガシジミ		○	56. ウラギンスジヒョウモン		○
28. ダイセンシジミ			57. オオウラギンスジヒョウモン		○
29. ミズイロオナガシジミ		○			

△：疑問種， ●：偶産種

	1903 小 増 森 田	1955 沢 谷		1903 小 増 森 田	1955 沢 谷
58. メスグロヒョウモン	○	○	87. ツマジロウラジャノメ		○
59. クモガタヒョウモン	○	○	88. ヒメキマダラヒカゲ	○	○
60. ミドリヒョウモン	○	○	89. キマダラモドキ	○	
61. ギンボシヒョウモン		○	90. オオヒカゲ		
62. ウラギンヒョウモン	○ ○	○	91. クロヒカゲ		○
63. オオウラギンヒョウモン	△		92. ヒカゲチョウ	○ ○	○
64. ツマグロヒョウモン		●	93. ヤマキマダラヒカゲ	○ ○	○
65. アサマイチモンジ		○	94. サトキマダラヒカゲ		
66. イチモンジチョウ	○ ○	○	95. ヒメジャノメ	○ ○	○
67. コミスジ	○	○	96. コジャノメ	○	○
68. ミスジチョウ	○ ○	○	97. チャマダラセセリ	○ ○	○
69. ホシミスジ		○	98. ミヤマセセリ		○
70. オオミスジ	○	○	99. ダイミョウセセリ	○	○
71. サカハチチョウ	○ ○	○	100. キバネセセリ		○
72. キタテハ	○ ○	○	101. アオバセセリ		○
73. シータテハ		○	102. ギンイチモンジセセリ	○	○
74. エルタテハ		○	103. コチャバネセセリ	○	○
75. ヒオドシチョウ	○	○	104. スジグロチャバネセセリ		○
76. キベリタテハ		○	105. コキマダラセセリ		○
77. ルリタテハ	○	○	106. ヒメキマダラセセリ		○
78. クジャクチョウ	○	○	107. キマダラセセリ		○
79. ヒメアカタテハ	○	○	108. ホソバセセリ	○	○
80. アカタテハ	○	○	109. オオチャバネセセリ	○ ○	○
81. スミナガシ		○	110. ミヤマチャバネセセリ		○
82. コムラサキ	○ ○	○	111. チャバネセセリ		○
83. ゴマダラチョウ		○	112. イチモンジセセリ	○ ○	○
84. オオムラサキ	○	○			
85. ヒメウラナミジャノメ	○ ○	○	郡上郡総数 112 (111)	25 54	104
86. ジャノメチョウ	○	○		56	

文 献

1. 名和靖 (1889) 明治二十二年三月中岐阜地方ニ於テ採集セシ蝶類目録, 動物学雑誌, 1 (6): 168~169.
2. ——— (1892) 伊吹山の蝶類, 動物学雑誌, 4 (48): 409~411.
3. 伊東富太郎 (1901) 養老付近産蝶類目録, 博物之友, 1 (4): 14~15.
4. 増田健蔵 (1903) 岐阜県郡上郡の蝶報, 昆虫世界, 7 (1): 27~28.
5. ——— (1903) 昆虫採集報, 昆虫世界, 7 (5): 217.
6. 小森省作 (1903a) 第一回岐阜県昆虫分布調査(一), 昆虫世界, 7 (7): 276~286.
7. ——— (1903b) 第二回岐阜県昆虫分布調査(二), 昆虫世界, 7 (8): 319~327.
8. ——— (1903c) 第一回岐阜県昆虫分布調査(三), 昆虫世界, 7 (9): 373~376.
9. ——— (1903d) 第一回岐阜県昆虫分布調査(四), 昆虫世界, 7 (10): 414~418.
10. ——— (1903e) 第一回岐阜県昆虫分布調査(五), 昆虫世界, 7 (11): 456~459.
11. 宮島幹之助 (1904) 日本蝶類図説, 成美堂・目黒書店, 東京.
12. 古田史郎 (1953) 郡上の蝶速報, Napi News, (6): 6~7.
13. 古田史郎 (1955) 岐阜県郡上郡北部の蝶, 佳香蝶, 7 (26): 1~23.
14. ——— (1956) 晩春の〔郡上郡高鷲村〕蛭ヶ野, Napi News, (7): 156.
15. 高橋昭・葛谷健 (1956) 中部東海地方産蝶類目録 第3報, 佳香蝶, 8 (29/30): 1~123.
16. 白水隆 (1958) 日本産蝶類分布表, 北隆館, 東京.
17. 沢谷史郎 (1967) 白鳥町のキマダラルリツバメ, 佳香蝶, 19 (69): 37.
18. 田中正弘 (1970) 益田地方(岐阜県)の蝶類 II, 佳香蝶, 22 (82): 5~9.
19. 高橋昭 (1973) 本州高地帯のゴマシジミ—1新亜種の記載を含む—, 蝶と蛾, 23 (3/4): 75~85.
20. 岐阜県環境部環境保全課 (1982) 岐阜県の昆虫(岐阜県昆虫分布調査報告).
21. 下山建作 (1982) つがるの蝶, 下山建作先生青森県文化賞受賞記念刊行会, 青森.

追記: 沢谷氏は蛾においても多くの発見をされているが, これは田中蕃氏が記述されているので, ここでは一切触れなかった。

■■■■■■■■ 啓蟄の原稿を募集します ■■■■■■■■

- 原稿は原稿用紙に書いて下さい。
- 出来上り 11 ページ(400字詰原稿用紙約 40枚)以上の報文を一挙掲載する時は, 超過分費用が著者負担となることがあります。
- 原稿の書き方は, 投稿規定が出来る間, 本号を参考にして下さい。不備な原稿は, 編集者が訂正を求めることがあります。
- 英文タイトルは要望があれば編集者がつけます。
- 原稿の送り先, 照会先は下記のとおりです。

〒500 岐阜市芥見南山三丁目11-1

岐阜県立岐阜藍川高等学校内 田中正弘宛

啓 けいちつ 蟄

Vol.6 No.16

発行日/昭和63年(1988年)8月15日

編集者/田中正弘 野平 照雄
尾藤成人 高井 泰

発行者/岐阜県昆虫分布研究会(GKK)

〒501-11 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学教育学部内
郵便振替 名古屋5-8149
年額会費 3,000円

印刷所/名港印刷株式会社
名古屋市港区築三町3-6
TEL (052) 652-3311